

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

項目	書名 新編 新しい社会 公民（東京書籍）
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	<p>○各章を通して「対立と合意」「効率と公正」の見方や考え方を活用して様々な課題について話し合う活動が設定されており、思考・判断した内容を適切に表現できる力が身に付けられるように配慮がされている。</p> <p>○環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など現代社会の多様な諸問題を多彩な資料や具体的な事例を挙げて取り上げることで、課題の解決のための意識や態度を養う工夫がされている。</p> <p>○見開き1単元の学習内容が興味関心を喚起させる導入資料→学習目当てを表す課題→本文を補完する豊富な資料→学習内容をまとめる確認と流れていく中で基礎的・基本的な知識の定着を図っている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○章末の「学習の確認をしよう」では重要用語が掲載ページと示されていて、知識の定着の確認と振り返りが自分でできるようになっている。</p> <p>○「公民にアクセス」のコーナーでは文章資料を中心に本文での学習を詳しく説明したり関連した内容を深めたりして、知識を確実に習得できるよう工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各章の導入の言語活動とまとめの言語活動に連続性を持たせ、導入での活動を生かして単元のまとめをすることで思考力・判断力・表現力を養う内容になっている。</p> <p>○グラフや表を地理・歴史・公民の3分野共通で掲載し、各分野の視点で考察する活動を設けることで、学習内容の関連を図り、多面的・多角的に考察する力を育てられるように配慮がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「コンビニの店長になってみよう」「誰を市長に選ぶべき？」などの単元の導入で生徒が主体的に活動する内容を取り入れることで、学習への意欲や関心を高めるような工夫がされている。</p> <p>○「公民にチャレンジ」のコーナーでは単元の学習を深め、話し合い活動を通して多様な意見に触れながら価値判断が行えるような取り組みになっている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○東日本大震災からの復興や生徒の作文や同世代の子供の姿を取り上げることで、現代社会の問題を自らの日常生活に引き付けて理解することができ、解決していこうとする意識と態度を育てる内容になっている。</p> <p><民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○インタビューコラムが多数掲載されており、実際に社会で活躍している人の姿を学ぶことで、社会参画のあり方や自分の生き方を考えることにつながる工夫がされている。</p>
資料	<p>○巻頭資料「持続可能な社会を目指して」、巻末資料に「私たちにできる社会参画」を掲載し、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識させるようになっている。</p> <p>○資料には見開きごとに通し番号を付け、対応する本文の上にも図番号を付けることで、授業で指示しやすいような配慮がされている。</p>
表記・表現	<p>○文章は敬体で、重要語句は太字で示されている。また側注で語句の説明をしている。</p> <p>○各単元に共通して活動の内容や課題がマークで示されており、それぞれの活動に取り組めるようになっている。</p>
総括	<p>各見開きには「キーワードを使って説明する」「共通点や相違点に着目して説明する」「空欄に語句を補充して説明する」など多様なまとめ方で学習を振り返る活動が取り入れられている。これは所沢市における「学び創造プラン学力向上推進事業」の取り組みと合致しており、話し合い活動や小集団での言語活動が充実していることで思考力・判断力・表現力を育む内容になっている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

項目	書名 中学社会公民 ともに生きる（教育出版）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○「公民にアプローチ」のコーナーで新聞の活用の仕方を学び、多面的・多角的に出来事をとらえる力や他者の意見に配慮しながら自分の意見を伝える力、社会と自分とのかかわりを意識できるような取り組みになっている。</p> <p>○福祉の課題やプライバシーの保護、東日本大震災など身近な話題を題材にした事例・資料を通して今日的な課題についての解決や自分とのかかわりを意識し、民主主義に関する理解を高めるような工夫がされている。</p> <p>○「つなげたい、日本の伝統や文化」のコーナーでは伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛する態度を養うとともに、これらの伝統や文化を未来の世代に受け継いでいく意味を考えさせるようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○ふりかえろうのステップ1ではその時間の学習したことを振り返って確認する課題が設けられている。</p> <p>○いくつかの資料では「読み解こう」のコーナーで資料を読み取ったり考えを深めたりして社会の動きを考察する活動を取り入れている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「言葉で伝え合おう」のコーナーでは裁判員裁判やまちづくりのアイデアを提案するなど言語活動を通して、思考力・表現力等を育成する取り組みになっている。</p> <p>○ふりかえろうのステップ2では学習したことを活用して話し合ったり自分の考えを説明したりするような課題が設定されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○公民の学習を始めるにあたって具体的な学び方で気を付けることや心がけることを指示したり、ノートの作り方を細かくチェックしたりすることで学習に向かう意欲を高めるような工夫がされている。</p> <p>○単元ごとに学習課題が明示され、生徒が課題意識を持って学習に取り組めるような工夫がされている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「対立と合意」「効率と公正」などの概念をマンションの駐車場のルール作りを例に挙げて取り上げ、話し合いの手続きの方法や公正さなどを学ぶ取り組みになっている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○『「未来への私の約束」をつくろう』では自らが社会を形成する一員だという自覚を高め、責任ある主権者として社会に参画しようとする意思を培う工夫がされている。</p> <p>資 料</p> <p>○巻頭資料では「動き続ける世界」巻末資料に「未来へ歩み続ける人々」の写真を多用した資料が掲載され、現代社会の様子や人々の活動をとらえる機会を作っている。</p> <p>○本文中の内容と関わる資料には番号がふっており、どの資料が対応しているのかわかりやすい工夫がされている。また、章末のまとめに学習内容と関わる本やホームページの資料を掲載している。</p> <p>表記・表現</p> <p>○文体は常体で、重要語句は太字で示している。側注で語句の解説をしている。また、ページの右下に学習パートを示し、章の中のどのパートを学習しているかわかるようになっている。</p> <p>○ユニバーサルデザインを配慮し、判読しやすいレイアウトや配色を工夫し、学びやすい配慮がされている。</p>
総括	<p>「学習のまとめと表現」では各章で学んだ内容をまとめたり、活用して考えを深めたりするような言語活動を取り入れている。全体を通して「効率と公正」の概念を意識しながら考え表現する課題は所沢市における「学び創造プラン学力向上推進事業」の取り組みと合致している。また、読み物資料などによって学習課題に対する基礎的・基本的な知識や技能の取得を図るような工夫がされている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

書名		中学公民 日本の社会と世界（清水書院）
項目		<p>○選挙をめぐる問題や裁判員制度など具体的な事例を取り上げ、権利や義務などの抽象的な概念を学び、それに関わる資料から広い視野で正しく認識させるようになっている。</p> <p>○特に人権・平和・環境問題に関しては序章や特設ページで取り上げられており、自らの課題としてとらえ、解決に向けてどのような取り組みが考えられるかを問う内容になっている。</p> <p>○国際的なつながりを意識できるよう、文化の国際化や各国の憲法、国境を越えた人権を守る取り組みなどを紹介し、各国民が連携して国際社会の諸問題を解決に導き、平和と発展に寄与できるように配慮されている。</p>
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○まとめのページで重要用語や基礎的・基本的な知識の習得を図る内容になっている。</p> <p>○本文中の側注で内容の補助説明がされていて、事象への理解が進み、学習内容が定着するようになっている</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「対立と合意」の課題では体育館の使用方法を例に出し、生徒の身近な課題を話し合わせることで概念を学ぶようになっている。また、風船マークの課題を調べたり、考えたりすることで思考力等を育成するようになっている。</p> <p>○「卒業論文を書いてみよう」で3年間学んだことを自分の言葉で表現させる工夫がある</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○見開き2ページごとに1つ学習課題が設定しており、生徒が課題意識を持って授業に取り組める工夫がされている。</p> <p>○それぞれの扉のページで学習内容と深く関係する人物の活動や著作の一部などを取り上げ、生徒の興味関心を引き出し、現代社会の様々な課題を考える工夫がされている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「深める公民」の中で裁判員制度や憲法改正など現代社会の具体的な事象を紹介することで生徒の興味・関心を喚起し、学習に関連する知識と理解を深める工夫がされている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○冒頭には、「公民って何だろう」と生徒に問いかけ、公民的分野の導入として個人と社会とのつながり、地域や国を越えて共に生きること、理想を求めて自ら考えていくことを表している。</p>
	資 料	<p>○巻頭資料で「現代の世界を1人当たりの国民総所得で色分けした地図」「世界の中学生の様子」が掲載されている。巻末には「現代社会の動き」で1945年以降の世界と日本の動きが年表にされている。また、日本の無形文化遺産がカラーで掲載されている。</p> <p>○補足の資料では本文に関連するグラフ、表、条文などが掲載され、各単元の内容理解や深める学習に活用できるようになっている。</p>
	表 記 ・ 表 現	<p>○文体は常体で、重要語句は太字で表現されている。側注には語句の解説がされていて、関連ページも示されている。</p> <p>○紙面はB版のサイズでコンパクトにまとまっており、ユニバーサルデザイン・フォントを使用し、読みとりやすい教科書となるよう配慮を行っている。また、図版、地図などは読みとりやすい配色を心がけている。</p>
総 括		<p>単元ごとのねらいが明確に表されていることで生徒の学習意欲を喚起する内容になっている。また、身近な現象を調べたり学習内容に対して自分の言葉で自分の意見をまとめたりさせるような発問も掲載されている。これは所沢市における「学び創造プラン学力向上推進事業」でねらう思考力・判断力・表現力の育成を図る内容になっている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

項目	書名 社会科 中学生の公民（帝国書院）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○各章の初めに学習内容に関連した具体事例を設置し、見開きごとに学習課題を明示することで主体的な学習ができるようになっている。また「クローズアップ」のコーナーでは実社会の実例を紹介することで学習内容と自分自身をつなげる工夫がされている。</p> <p>○少子高齢化、情報化、グローバル化、人権、平和、環境など現代および将来の社会が直面する課題とそれらへの取り組みについて理解することによって、社会の一員として公共の精神をもち、主体的に社会の形成に参画する責任を実感できる内容になっている。</p> <p>○裁判の判決や企業の企画書を書く活動を通して「対立と合意」「効率と公正」などの見方や考え方をしっかり身につけ、多面的・多角的にその事象をとらえる力を育成できる工夫がされている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○1～2章ごとの最後にまとめのページを設定し、一問一答形式の問題や図表を活用した問題などを通して知識を定着できるようになっている。</p> <p>○「確認しよう」「説明しよう」のコーナーでは学習内容を確認し、自分の言葉で説明することによって知識の定着を図る内容になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○プライバシーの保護や国債発行についてのテーマにおける賛成・反対の意見を掲載する「YES・NO」のコーナーを設け、様々な立場の考え方に触れられるようになっている。</p> <p>○各時間の「説明しよう」の活動を通して対立と合意の考え方を扱い思考力を育てる内容になっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各部の初めにこれから学ぶ内容と関連した見開き2ページの大きなイラストや資料を読み取ることで学習に対する興味・関心を高め、さらに部を通して活用できるような工夫がされている。</p> <p>○すべての章のまとめでレポートを意識させた課題が設定されていることで、第5章での「持続可能な社会の形成のための取り組み」のレポート作成でスムーズな探究活動が行えるようになっている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫> ○政治の単元では「国会議員が語る政治の現場」を掲載し、国会議員の国政に対する思いを多数掲載し、実生活の中での様々な「声」に触れることで、人々の工夫や努力を重ねている姿を知り、共感的な視点で学習に取り組める工夫がされている。</p> <p><民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫> ○経済の単元では「パン屋の経営者になってみよう」で章を通して企業経営を疑似体験できる内容になっており、様々な問題に対して自分の意思決定をする場面を設けることで、知識だけでなく自分が将来働くにあたっての意欲を高められるようになっている。</p>
資料	<p>○巻頭資料「世界で活躍する日本人」、巻末資料に「より良い未来をめざして」では、積極的に社会に参画することの大切さに気付ける内容になっている。</p> <p>○読み取るのが難解な資料に関して「資料活用」のコーナーを設け、資料に関する作業活動や注目すべき点の紹介をすることで生徒の理解を助けている。</p>
表記・表現	<p>○文章は敬体で、重要語句は太字で示されている。また側注で語句の説明をしている。</p> <p>○ページの右端にインデックスがついており、全体の中の何を学んでいるかとらえやすくなっている。</p>
総括	<p>多様な言語活動を通して自分の意見をまとめたり様々な立場から話し合ったりするための題材が用意されている。これは所沢市における「学び創造プラン学力向上推進事業」の取り組みとも合致している。また、未来の社会を形成する主権者としての自覚を持たせる取り組みが多く取り入れられ、学習内容と自分とのつながりを感じ新しい社会を生み出す想像力を身に付けられる工夫がされている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

項 目	書 名 中学社会 公民的分野（日本文教出版）
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○特に「明日に向かって」のコーナーでは、社会の形成に参画するための学習活動が充実しており、社会の一員としての自覚を培えるような学習活動を取り入れている。</p> <p>○各章、各単元生徒自らが学習の見通しを立て、学習した内容を活用できる問いかけを設け、思考力・判断力・表現力の向上を図る工夫がされている。また、基礎的・基本的な知識、概念や技能を着実に習得し、自己の学習の成果が確かめられる内容になっている。</p> <p>○これからの消費税について、地球温暖化への対策など、日本と世界の将来について考えさせる内容を充実させ、幅広い学習活動に生かされる題材を設けている。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○1単元ごとに鍵マークでポイントとなる言葉を示すことで、基本的な知識の定着を図る内容になっている。</p> <p>○見開き2ページごとに学習課題に対して「学習の確認」があり、その単元の学習の理解が確かめられ、知識の習得と活用を図るような工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○見開き2ページごとに「学習の活用」があり、学習内容や知識を使って応用的に考えたり自分の言葉でまとめたりする活動が取り入れられている。</p> <p>○一票の格差などをディベートの課題に設定し、論理的な表現方法や納得させるような説明の仕方を体験させる工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各章の初めに「ナビ」のコーナーが設置されていて、イラストや新聞記事を用いることで何を学習するのか、小学校での学習との関連が示されており、目的を持って学習を進められる工夫がされている。</p> <p>○「アクティビティ」のコーナーで具体的な作業学習が提示され、主体的に課題へ取り組む工夫がされている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○全編を通して「対立と合意」を意識させる課題が章末に掲載されていて、合意へ導くために自分の主張や判断した理由を考えさせる工夫がされている。</p> <p><民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「明日に向かって」の中で様々な方法で社会とつながる方法や体験活動を紹介し、「ナビ」のコーナーでは新聞から現代の政治を読み取り、学習内容と現代社会のつながりが意識しやすくなっている。</p>
資 料	<p>○巻頭資料で「夜の地球」の衛星写真とこれから学ぶ内容の導入になるような写真、「日本の現代史年表」「現代の世界の様子」が掲載されている。巻末には「残しておきたい日本の風景」で日本の美しい風景を紹介している。</p> <p>○バリアフリーの紹介で多くの写真資料と共に点字の表示も触って分かるように掲載されている。</p>
表 記・表 現	<p>○文体は常体で、重要語句は太字で表現されている。側注には語句の解説がされていて、関連ページも示されている。</p> <p>○ページの左端にインデックスがついており、全体の中での学習内容をとらえやすい工夫がされている。</p>
総 括	<p>「チャレンジ公民」や「明日に向かって」のコーナーで物事の考え方や話し合いの技能を学ぶことができる。様々な現代社会の課題に触れ、言語活動を行うことで自分の考えをまとめ、表現する場面を設け、思考力等を養う構成になっている。これは所沢市における「学び創造プラン学力向上推進事業」の取り組みとも合致している。「アクティビティ」では具体的な体験学習等を取り入れている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

書名		新しい公民教科書（自由社）
項目		<p>○国旗や国歌の持つ意味や領土問題、世界に誇ることのできる日本の伝統や文化を多数紹介し、先人が築き引き継いできたものに対して尊重するような態度を育て、愛国心に関する内容を取り扱っている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」の中で単元ごとの最重要語句がまとめて掲載されており、繰り返しの学習が自主的に行えるような工夫がされており、基礎的・基本的な知識の定着を促すような取り組みになっている。</p> <p>○国家のあり方を学ぶ際に誕生したばかりのシンプルな国家から次第に国家の役割を増やして権利を保障し、国民が平等な立場で政治に参加する国民国家へと発展させていくことで民主主義に対する理解を深め社会へ参画する態度を育てていく内容になっている。</p>
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり		<p>○国旗や国歌の持つ意味や領土問題、世界に誇ることのできる日本の伝統や文化を多数紹介し、先人が築き引き継いできたものに対して尊重するような態度を育て、愛国心に関する内容を取り扱っている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」の中で単元ごとの最重要語句がまとめて掲載されており、繰り返しの学習が自主的に行えるような工夫がされており、基礎的・基本的な知識の定着を促すような取り組みになっている。</p> <p>○国家のあり方を学ぶ際に誕生したばかりのシンプルな国家から次第に国家の役割を増やして権利を保障し、国民が平等な立場で政治に参加する国民国家へと発展させていくことで民主主義に対する理解を深め社会へ参画する態度を育てていく内容になっている。</p>
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きのページごとに「ここがポイント」を設け、単元の要点を示し、各単元の内容を理解し、定着させるようになっている。</p> <p>○各章のまとめには「学習のまとめと発展」があり、○△の印をつけることで知識の定着が自分で確認できるような工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「学習のまとめ」では重要用語の意味を自分の言葉でまとめたり、単元で理解した内容を100～200字程度でまとめたりする課題が設定されていて、思考力・表現力を高めるような取り組みになっている。</p> <p>○憲法9条の解釈を4つ掲載するなど、現代日本が抱える課題に対して多面的・多角的に考察しようとする態度を養う工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○本文に関連し学習の教科の補充として「ミニ知識」の欄を36点掲載し、学習内容を深めることができる。</p> <p>○本格的な発展学習のとして「もっと知りたい」というコーナーが21点掲載されており、社会的事象に興味・関心を持たせるような工夫がされている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「ディベートをやってみよう」の課題では現代社会における様々な課題の中で「対立と合意」「公正と公平」に配慮しながら他者の考えを聞き取り、議論を深めて合意を形成していく力を養うための学習内容になっている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「課題の探求」でレポートや卒業論文を作る取り組みを通して、現代社会における課題に目を向け、自分で調べ、解決の方法を考えまとめることにより、持続可能な日本社会を形成する自覚や参画しようとする態度を養う工夫がされている。</p>
	資料	<p>○巻頭資料「世界に誇る日本の先端技術」では写真と解説を通して先端技術の特集が組み立てられており、巻末資料に「わが国の領域」を掲載し、生徒に領土問題について関心を持たせるようになっている。</p> <p>○「ミニ知識」など読み物の資料が多く掲載されていて、単元の内容をより深く学ぶ工夫がされている。</p>
	表記・表現	<p>○文章は敬体で、重要語句は太字で示されている。また紙面はB版でまとまっている。</p> <p>○本文中の内容に関わることが側注で補足説明されており、生徒の理解を助けるような工夫がされている。</p>
総括		<p>「学習の発展」のコーナーで単元の内容を理解し、さらにその内容を400字程度でまとめることで、思考力・表現力を高めるような学習活動が繰り返し行えるようになっている。これは所沢市における「学び創造プラン学力向上推進事業」のねらいとも合致している。また章の初めに大きな学習課題が提示されていることで目的意識を持って各単元に臨めるようになっている。</p>

第11採択地区（所沢市）教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告
【 社 会（公民的分野）】

書名		新編 新しいみんなの公民（育鵬社）
項目		<p>○「日本の伝統文化」や「身近な祭りを調べてみよう」では日本の伝統文化などに関する写真資料を多用し、個性豊かな文化の創造を図る日本人を育成するために、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるような工夫がされている。</p> <p>○新聞記事や巻頭資料などで日本と世界が抱える諸問題に関して幅広い知識と教養を身に付け、多面的・多角的な考察力や公正な判断力、適切な表現力を養えるようになっている。</p> <p>○歴史的な分野で学習してきた内容を年表やコラムなどで自分が生きている社会と結びつけ、現代社会への興味・関心を高める工夫がされている。</p>
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり		<p>○「日本の伝統文化」や「身近な祭りを調べてみよう」では日本の伝統文化などに関する写真資料を多用し、個性豊かな文化の創造を図る日本人を育成するために、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるような工夫がされている。</p> <p>○新聞記事や巻頭資料などで日本と世界が抱える諸問題に関して幅広い知識と教養を身に付け、多面的・多角的な考察力や公正な判断力、適切な表現力を養えるようになっている。</p> <p>○歴史的な分野で学習してきた内容を年表やコラムなどで自分が生きている社会と結びつけ、現代社会への興味・関心を高める工夫がされている。</p>
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○章末の「学習のまとめ」で重要語句を確認し、ワークシートにより、基礎的・基本的な知識の習得を図っている。</p> <p>○見開き1時間の学習の流れを「つかむ」→「調べる」→「まとめる」という問題解決型の学習過程をとり、基礎的・基本的な知識の定着を図る内容になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○見開きのページごとに「鉛筆マーク」のまとめ作業で学習内容が理解できているか確認したり、深めたりする課題を提示し、思考力・判断力を養うようになっている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」でも「対立と合意、公正と公平」に関する課題を繰り返し行えるように工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各章のはじめに「〇〇の入り口」を設定し、章の学習内容の趣旨をとらえさせる言語活動を取り入れ、各章の学習内容に対して興味・関心を持たせるような工夫がされている。</p> <p>○新聞記事が多数掲載されていて、自分の身の回りで起きている社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てるように工夫されている。</p> <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「社会のまとめ」で自分が総理大臣になったらと仮定してより良い社会を作るにはどうすればいいか、さらに発展させるにはどのような政策が考えられるかを自分の言葉でまとめさせる活動が取り入れられている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「人生モノサシ～15歳からの自分の過去・現在・未来」で自分の人生とこれから教科書で学ぶ内容のつながりを意識し、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う工夫がされている。</p>
	資料	<p>○巻頭資料「私たちを取り巻く課題」「世界で活躍する日本人」、巻末資料に「持続可能な社会をめざして」を掲載し、豊富な写真資料や文章を用いて生徒の関心を高める工夫がされている。</p> <p>○巻末の資料に学習に役立つウェブサイトの一覧を掲載しており、調べ学習や深く追求する学習に活用できるようになっている。</p>
	表記・表現	<p>○文章は敬体で、重要語句は太字で示されている。また側注で語句の説明をしている。また、ふりがなにゴシック体を用いて小さな文字も読みやすい工夫がされている。</p> <p>○本文と関連する語句や内容に関しては→P. ●●と参照ページを掲載している。</p>
総括		<p>「社会のまとめ」でテーマを決めてレポートを作成する中で、プレゼンテーションの方法や構成を学び、分かりやすく説明し、聞き手に理解してもらう手法を身に付ける構成になっている。これは所沢市の「学び創造プラン学力向上推進事業」でねらう確かな学力を育む内容と合致する。また、「理解を深めよう」のコーナーで自分の考えをまとめたり話し合ったりする活動が取り入れられている。</p>